

おおふな

2026年7月27日 No.3

発行者：森田隼士 編集：情宣部

JR東労組 大船支部

大船支部第30回定期大会開催！！③

大会発言（要旨）



【組織強化・拡大について（集中討議での議論を含む）】

●出向先のプロパー社員を意識して、自らの経験などを伝えている。●自分も異動先で組合員1人だったときがあった。異動させたことを後悔させる為に実践していく。●未加入者をレクに誘い、楽しかったと感想を貰えた。●組織拡大をしていく上で関係づくりが重要。●自分も他支社からの異動。知っている人が誰一人いないなか、気にかけてくれたのは東労組の組合員だった。助けてくれる人がいるから、組合活動も続けられる。●訓練後などに未加入者を食事誘っている。誘った未加入者も楽しいと言ってくれた。これからも行動を起こしていく。●2ヶ月に一度職場で飲み会を企画。東労組への加入はできないが、社交会は抜きたいという人もいます。●いきなり入れと言っても入る人はいない。昔の東労組とは違う、変わったんだと訴えていく。●ワンマン施策で駅に異動し久々の営業職場。分からないことも多く、異動してきた人はみんな不安。そんな中支え合えるものを作りたいと、異動してきた他の未加入者と共に飲み会を開催。今後はBBQレクも予定している。会社にはできない、仲間の大切さを感じられる場をつくっていく。●仲間内で競馬場へ。未加入者も誘ったが、組合の話まではできなかった。ゆっくりと組合のことを話せる場を作りたい。

【東労組運動について】

●部会で定期的に議論の場をつくっている。職場での悩みや不安を出し合っている。●かんり部会は「人の心」「母の心」で実践していく。●「異動した人の思いに立つことが大切」と言われてきたが、自らが異動となりそのことを実感できた。分会執行部の人たちが気にかけてくれていた。

【会社姿勢について】

●横浜地本内で発生した個人面談内容の情報漏洩、許すことはできない。管理者の言動に怒りを覚える。

【過半数代表選について】

●立候補した仲間が惜敗。辛い思いをしている。周りにいる自分たちもその思いに立つことが大切。●短冊の掲示を作成し、立候補した仲間を支えてきた。●結果より中身だ。東労組の仲間の力を感じることができた。●職場問題とからめて票を投じて欲しいと、そういう思いで情報をつくってきた。●人も増えずの状況を打破する為、職場で話をしてきた。●自ら立候補。仲間が支えてくれた。組合員の倍以上の票を勝ち取ってきた。

【職場問題について】

●7月から非現業で働く人たちが兼任で現場にも来るようになった。その人たちも不満を抱えている。●男性寝室にウジ虫がいた。業者によって掃除はしたものの老朽化している。過半数代表者にそのことを相談したが、返事は「まずは職場で話し合ってください」と言われた。過半数代表者としての役目を放棄している！●業務上必要な項目が全社員に伝わらず、一部の社交会のみ伝えられた事象を、分会情報で共有した。●組合員が勤務担当者から「休日出勤をしなければ、年休を取り消す」と言われ怒り心頭！●観光で訪れる乗降客が多く、特に日本の鉄道に慣れていない外国人のお客さまも多い。そんな中で企画業務に要員が割かれている。必要なところに必要な人を配置すべきだ。●ワンマン施策で異動し車掌に。組合員の師匠から車内改札はただのキップ売りではない。車内秩序を守ることだと言われた。乗り間違いのお客さまも多く、ご案内をすることも多い。人でしかできないことだ。●制度改正により休日は増え労働時間は短くなったが、その分仕事量は増えている。●手探りで仕事を覚えていくことに不安がある。テキストはあるが、実際にやってみないとわからない。同じことは2度と聞かないようにしている。周りがサポートしてくれている。●取り扱いが今まで以上に多い。人が人でしか出来ないことを学ぶことができた。●希望とは違う職種に配属。1on1 ミーティングで異動の話振ってないのに、管理者から「今の業務でお願いします」と言われた。

**全組合員の力で傲慢な会社姿勢に立ち向かい
組織強化・拡大を実現しよう！**